

事業所名

発達支援施設はじめての一步須恵事業所

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

8月

26日

法人（事業所）理念	障がいがある「なし」に関わらず、ひとりひとりの個性を大切にしながら、将来、子ども達が人として自分の価値を見出すことが出来る活動を展開し、多くの「成功体験」や「失敗体験」をすることで、子ども達の「やる気」「自信」「自己肯定感」を強め、地域・社会の中で人と繋がりが自分らしく生きていくことが出来る力をつけていく。				
支援方針	踏み出した一歩（結果）も大切だが、その一歩を踏み出すまでの「過程」や踏み出そうとする「勇気」や「決意」を大切にしたい。支援者は子どもと一緒に「過程」を歩んでいく中で、「勇気」や「決意」をもつことが出来るように支援・サポートしていく。 ・日々の活動プログラムの中に、「成功・失敗」といった体験が出来る機会を意図的に作り出し、誉める機会を作る。 ・たとえ「失敗」したとしても結果の評価やプロセスの評価ではなく、次に向かう姿勢や気持ちにスポットを当ててほめる。 ※誉めるときは、具体的に言葉にして伝える。				
営業時間	9時	0分から	18時	30分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	身辺準備・更衣・トイレトレーニング・クッキング			
	運動・感覚	サーキット・器械運動・ボール遊び・製作活動・触感覚遊び・レクリエーション活動			
	認知・行動	平仮名学習・数、形のマッチング・ルールのある遊び・レクリエーション活動			
	言語 コミュニケーション	ルールのある遊び、集団協力遊び・レクリエーション活動			
	人間関係 社会性	ルールのある遊び、集団協力遊び・レクリエーション活動			
家族支援	療育参観日や親子イベントを検討・実施し、お子様に関する新たな気付きを感じてもらいつつ、子育てに関する相談や困り事についての聞き取りを行う。			移行支援	・姉妹施設との定期的な交流会の実施（児童発達支援・放課後等デイサービス） ・地域にある他施設との交流会の検討・実施
地域支援・地域連携	糟屋中南部地域自立支援協議会の支援部に積極的に参加し、情報交換・共有を行うことで各施設や関係機関との連携強化を図っていく。 また、地域主催の研修等にも積極的に参加し情報収集に努める。			職員の質の向上	・長崎大学「高度人材育成プログラム」研修希望者のみ実施。 ・月1回/事業所ミーティングを実施 ・オンラインでの研修がある際は、積極的に受講を進めていく。
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・親子遠足 ・夏祭り ・高齢者施設訪問 ・事業所外活動(動物園など) ・ミニ運動会 ・クリスマス会 ・消防署見学 ・卒園セレモニー ・避難訓練(火災・地震・風水害) ・季節のクッキング 				